

愛されて半世紀!

タネのタキイ

微量要素入り 葉面散布肥料

ヨーゲン®

シリーズ

展着促進材入り

1袋
1kg詰

タネのタキイ
微量要素入り 葉面散布肥料

ヨーゲン®
アクセル

草勢の
回復
展着促進剤入

N 30
P 10
K 10

チンクナシの山型肥料

1kg

タネのタキイ
微量要素入り 葉面散布肥料

ヨーゲン®
スロー

養分転流の
促進
展着促進剤入

N 0
P 33
K 22

チンクナシのPK型肥料

1kg

ヨーゲン® アクセル

N 30 P 10 K 10

微量要素

■マンガン 0.1 ■ホウ素 0.05 ■鉄 0.02
■銅 0.01 ■亜鉛 0.01 ■モリブデン 0.002

タネのタキイ
微量要素入り 葉面散布肥料

ヨーゲン®
キープ

順調な生育を
維持
展着促進剤入

N 15
P 30
K 15

チンクナシの山型肥料

1kg

ヨーゲン®スロー

N 0 P 33 K 22

微量要素

■苦土 6 ■マンガン 0.5
■ホウ素 0.2 ■鉄 0.06 ■銅 0.03
■亜鉛 0.03 ■モリブデン 0.06

ヨーゲン®キープ

N 15 P 30 K 15

微量要素

■マンガン 0.1 ■ホウ素 0.05
■鉄 0.02 ■銅 0.01 ■亜鉛 0.01
■モリブデン 0.003

ヨーゲン®シリーズ

●葉面散布の特長

植物の葉面散布による栄養分の吸収率は、土壌施用に比べて非常に高く、その吸収速度も早く、速効的効果が期待できます。

●ヨーゲンとは

窒素・りん酸・加里を中心とする三要素の含有成分量が高く、経済的な葉面散布肥料です。

こだわりの原料を配合しており、高濃度溶液の散布が可能です。特にりん酸は、精製りん酸を使用し、りん酸の葉面からの吸収が特に良くなっています。

	ヨーゲン®アクセル (旧ヨーゲン®強力2号)	ヨーゲン®キープ (旧ヨーゲン®リッチ)	ヨーゲン®スロー (旧ヨーゲン®ハイパワー)
成分	窒素30%、りん酸10%、加里10% マンガン0.1%・ホウ素0.05%・ 鉄0.02%・銅0.01%・亜鉛0.01%・ モリブデン0.002%、展着促進材添加	窒素15%、りん酸30%、加里15% マンガン0.1%・ホウ素0.05%・ 鉄0.02%・銅0.01%・亜鉛0.01%・ モリブデン0.003%、展着促進材添加	りん酸33%、加里22%、苦土6% マンガン0.5%・ホウ素0.2%・ 鉄0.06%・銅0.03%・亜鉛0.03%・ モリブデン0.06%、糖、展着促進材添加
目的	窒素養分を主に供給	バランスの良い養分を供給	りん酸、加里、微量元素などの養分を供給
効果	<ul style="list-style-type: none"> ●生育促進全般 ●風水害後の早期回復 ●葉色改善 ●増収と品質の向上 ●苗の活着促進など 	<ul style="list-style-type: none"> ●良好な生育維持 ●着果促進 ●果実・根茎肥大 ●健苗の育成 ●活着促進など 	<ul style="list-style-type: none"> ●軟弱徒長防止 ●発根促進 ●果実着色促進 ●貯蔵養分の充実 ●微量元素欠乏症の早期回復など

主な適用作物と使用方法	ヨーゲン®アクセル			ヨーゲン®キープ			ヨーゲン®スロー		
	適用作物	施用時期	希釈倍率 施用回数	施用時期	希釈倍率 施用回数	施用回数	施用時期	希釈倍率 施用回数	施用回数
果菜類	定植後～収穫前	200 } 500	3～5	定植後～収穫前	200 } 500	3～5	着果期～収穫期	300 } 500	2～3
葉菜類 (結球野菜)	外葉生育期 収穫5～14日前	200 } 500	3～5	収穫2～14日前	200 } 500	3～5	結球開始 7日前～収穫期	300 } 500	2～3
根菜類	発芽14日後～ 収穫期	200 } 500	3～5	発芽14日後～ 収穫期	200 } 500	3～5	根部肥大期～ 収穫期	300 } 500	4～5
野菜苗							育苗期全般	300 } 500	1～2
落葉果樹	収穫直後～落葉前 萌芽期～果実肥大期	200 } 500	3～5	萌芽期～ 果実肥大期	200 } 500	3～5	果実肥大期～ 収穫期	400 } 500	5～6
芝	生育期全般	200 } 500	3～5	生育期全般	200 } 500	3～5	6月～8月 10月～12月	300 } 500	3～4

ヨーゲンの上手な使い方

- 農薬混合時の希釈倍率は500倍以上で行ってください。
- 朝露の落ちた後、または夕方の散布をおすすめします。
- ご使用にあたっては、作物の状態を見ながら施用時期・施用量・施用方法等にご注意ください。
- 農薬とは混合使用できませんが、その場合農薬の取扱説明書をよく読み使用基準に従ってください。また混合した液は速やかに、当日に使い切ってください。
- アルカリ性の農薬や資材と混用するとアンモニアガスが発生する事がありますので、混用しないでください。
- 石灰硫黄合剤と混用すると有毒ガスが発生する恐れがありますので、混用しないでください。

使用上の注意

- ・食べられません。幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・保管には直射日光を避け、乾燥した涼しいところを選んでください。
- ・微粉末が手等に付着して皮膚を荒らしたり、口や鼻から吸い込むことがありますので、取扱いにはゴム手袋やマスクを使用してください。
- ・皮膚に付着した肥料はよく水で洗ってください。目に入った場合は速やかに多量の水でよく洗浄してから医師の診察を受けてください。
- ・金属を腐食することがあります。付着した場合は洗浄してください。
- ・開封後は、なるべく短期間に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は、密封してください。